

人を大切にする 経営を基盤に、 社会インフラの安全を支える



レールの切削加工の確認

分岐器や継ぎ目板の製造からレールの溶接工事 まで鉄道の安全を足元から支える

九州鉄道機器製造は大正10年の創業以来、列車の進行方向を変える分岐器やレールの継ぎ目板、トンネル掘削を支える支保工などを製造販売するとともに、夜間の列車が通過しない時間帯を利用してレール溶接工事などの保守サービスまで行うという、いわば「鉄道の安全を足元から支える会社」として、顧客である鉄道会社から高い信頼を得ている企業である。

平成7年に起こった阪神淡路大震災、また平成23年に発生した東日本大震災では、「緊急対応が我が社の使命」と捉え、社員全員が協力して緊急保安部品の製造納入を行い、鉄道会社から、鉄道復旧への貢献に対し感謝状を授与されている。

また同社は、鉄道分野のみならず道路トンネル用の支保工や、道路照明設備から屋内照明設備、また冬場に街を彩るイルミネーションの分野にも進出、広く社会の基盤を支える企業に発展してきている。

線路の安全をリードするオンリーワン技術

九州鉄道機器製造は、技術を大切に磨き続けて今日を築いてきた。その技術力の高さを示すのが、同社にしかないオンリーワン技術である。

企業概要		DATA
企業名	九州鉄道機器製造 株式会社	
代表者	大野 浩司	
所在地	北九州市門司区下二十町2-30	
TEL	093-381-1731	
FAX	093-381-1734	
資本金	5,000万円	
創業	1921年	
従業員数	48名	
事業内容	鉄道用分岐器、トンネル用支保工の製造販売、レール溶接、道路照明燈、イルミネーション等	
URL	http://www.kyutetsu.com/	

一つは、特許を保有する「レール溶射肉盛装置」である。この装置は、レールに発生する空転キズやヘコミの補修用として、鉄道総合技術研究所と共同開発したもので、重度のキズであってもレール交換を要さない修復作業を実現し、作業の大幅な時間短縮に貢献している。

二つ目は、同じく特許を保有する「レール溶接部後熱処理装置」である。この装置は、主に在来線に使われている硬頭レールの溶接時に軟化した部分を再加熱し、レールの硬度を増し摩耗を防ぐために用いられるもので、全国の鉄道工事会社のみならず、海外でも使用され、鉄道の安全を守る重要な装置になっている。

三つ目は同社の社名が冠に付いた「九鉄式フックボルト」である。橋梁上などで列車の振動により仮にナットが外れても、ボルトの落下が招く事故を防ぐことができる構造で、主に西日本で広く使われている。

社員の誇りとやりがい、自律と成長を促す 人を大切にする経営

「我が社は、人の命に直結する製品やサービスを扱っており、社員の前向きで誠実な気持ちがあって初めて成り立つ事業である」と大野社長は言う。またさらに「我が社には、優秀な職人気質の技術者が多い」と胸を張る。

同社の主力製品の一つである分岐器は、重要保安部品の一つに数えられ、トンゲールと呼ばれる18mのレールの仕上がり公差は0.2mm ～ 0.5mmという高い精度が要求される。このレールを製作するために「いい刃物で削らなければ、いい製品は出来ない」と、刃物から自身で作り上げる若手社員もいるほどという。

また夜間の限られた時間内に行うレールの溶接工事も、温度管理や時間管理に熟練の技が必要になる作業である。溶接不良は外観では見えない、もしクラックなどが入っていると大事故にもつながりかねない重要な工事である。ここでも永年培ってきた技術、技能が確実に伝承され、鉄道の安全を支えている。

こうした中で現在、同社が全員参加で取り組んでいるのが、「ムダをなくそう」から始めた“3S（整理・整頓・清掃）活動”である。毎朝10分間、若手の3S推進委員が決めた月間スケジュールに沿って、会社周辺の歩道清掃やトイレ

代表取締役社長
大野 浩司 氏

1993年入社。
2005年代表取締役社長に就任。5代目社長として、大正10年から引き継いできた「高品質の安全」を求め続け、鉄道分岐器メーカーとして、またトンネル支保工や照明部門でもシェアを拡大し、インフラ整備に貢献を続けている。率先したチャレンジ精神は常に社員を牽引し、その行動力は、地域でも奉仕や教育などに至り、その経験を社員の育成に還元している。

レの清掃、工場内の雑巾がけなどを実施しているもので、職場環境をきれいにするだけでなく、一日の段取りを考える貴重な時間にもなっているとのことである。

また、同社では毎年、創立記念日に社員や協力業者の家族を招待し、工場見学会を実施している。日頃見学できない製造工程を見ることで、会社に興味を持ってもらうとともに、家族が働く姿を見ることで家庭でのコミュニケーション、家族の絆に繋げる取り組みである。

創立100周年を間近に控え、大野社長は、「これから社員が誇りとやりがい、希望を持てる会社であり続けたい」と熱く語っている。



創立92周年記念 工場見学会にて

マーケティング 専門家の目

九州鉄道機器製造は、オンリーワン技術を基盤に鉄道で使用される分岐器や継ぎ目板などの鉄道関連資材、またレールの溶接工事など、鉄道の安全を足元から支える企業である。その背景には、社員の自律と成長、仕事に対するやりがいと誇りを生み出す「人を大切にする経営」が息づいている。